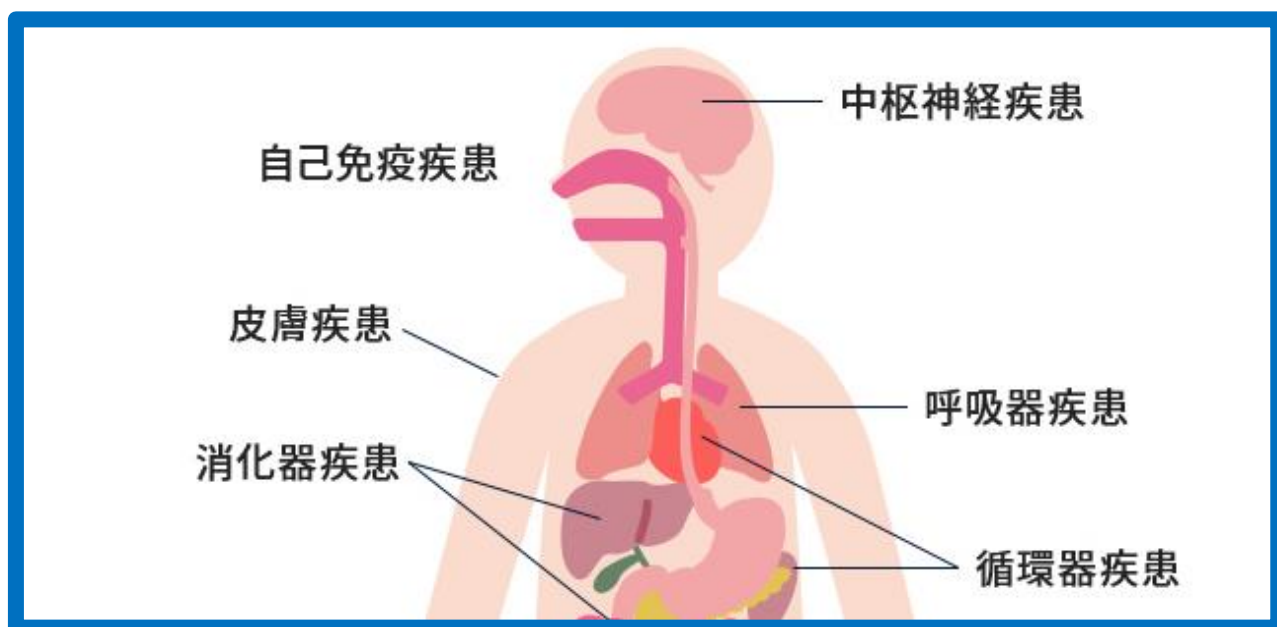


全ての臓器が、点滴で若返る再生医療

間葉系幹細胞移植

対象者



特に、免疫異常の病気(アトピー性皮膚炎、膠原病、リウマチ、炎症性腸疾患など)、脳梗塞後の後遺症、糖尿病やその合併症、COPD(タバコ肺)に効果を認めています。

① 間葉系幹細胞って何？

間葉系幹細胞とは、神経、筋肉、脂肪、骨、血管などの元になる細胞で、かつ、免疫調整作用が非常に高い細胞です。年齢とともに、体内の間葉系幹細胞の数は減り、神経痛、筋肉のやせ、血流/代謝の低下の原因になります。

② どんな病気に有効なの？

神経や筋肉は、再生しにくい器官であり、通常、機能が落ちれば元に戻りません。しかし、間葉系幹細胞は、体内で増え、神経や筋肉に変化します。その為、高齢者における、脊髄損傷、脳梗塞、筋肉のやせによる代謝の低下、ロコモティブ症候群（足腰が弱る病気）に効果を発揮します。また、間葉系幹細胞は、免疫調整作用があります。その為、難病といわれる、免疫異常の病気である、リウマチ、膠原病、アトピーなどの治療に効果があります。

③ 幹細胞治療によるメリット・デメリット

血流の病気、神経の病気、筋肉の病気、免疫異常の病
気は、ほとんどが難病です。その為、様々な治療を試
しても治療法が見つからないことが多く、そういう方
には、間葉系幹細胞による治療を強くお勧めします。

間葉系幹細胞による治療により、神経、筋肉、骨、皮膚や臓器の機能も改善するので、副次的に肌も臓器も若返ることも期待できます。同時に、免疫機能や自律神経の機能の回復も期待できるので万能の細胞といえるでしょう。投与方法も自分の間葉系幹細胞を体外で培養して増やして、体内に戻すので、ほぼ副作用はありません。デメリットとして、複数回点滴をする必要があること、保険診療で認められていないので、3回投与で550万円（税込み）がかかります。当院では治療は行ってはおりませんが、当院では治療に関する説明を行っております。また、治療を行っている医療機関をご紹介させていただいております。